

令和8年度 学校経営計画書

石川県立羽咋高等学校

校長 中川 久仁彦

1 教育目標

- (1) 自主性の確立と文武両道の実践 (2) 協調性と責任感の啓培 (3) 教養と学習の高揚 (4) 健全な心身の育成
(5) 社会に貢献する人材の育成

2 中・長期的目標

- (1) 学校の現状
- ① 生徒の自主性を重んじ、文武両道の実践に加え探究活動の充実を目指している。
 - ② STEAM教育を核として文理融合を進め、失敗から学ぶ姿勢を伸ばしていく必要がある。
 - ③ 自ら高い進路目標を掲げ、進路実現に向かう生徒を育てるための取組や支援に力を入れている。
- (2) 生徒に関する中・長期的目標
- ① 生徒一人ひとりの将来を見据えた選択や個々の興味・関心に合わせた進路指導を実現する。
 - ② Society 5.0 の到来を見据え、AI（人工知能）が急速に進化する時代を生き抜き、活躍するための人間力とスキルの育成を図る。
 - ③ 能登半島地震で被害を受けたふるさとの自然・歴史・文化・伝統について学び、防災意識の高揚を図るとともに地域に対する愛着と敬意を育成する。
 - ④ 人権感覚を育て、「差別をしない」「差別を許さない」学校作りを推進する。
- (3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方
- ① 本校の特色や在り方、危機管理体制、将来像についてすべての教職員がそのビジョンを共有し、その達成のために教職員一丸となり組織的に取り組む。
 - ② 探究活動ではファシリテーターを務めながら、教科の学力向上につながるように導いていく。
 - ③ 教職員のキャリアに応じた業務分担、研修等に配慮し、使命感や達成感の醸成に努め、十分な教育成果が得られるよう努める。

3 今年度の重点目標

- (1) 協同（協働）的な学び、個別最適な学びの推進
協同学習の視点を取り入れ、授業形態の工夫や観点別評価等の活用により生徒が主語の授業への改善を図る。
- (2) 豊かな心の涵養
生徒が主体的に運営する生徒会活動や部活動等を創出するなど、様々な活動を通じて生徒に達成感や自己有用感、自尊感情を育む。
- (3) 課題発見力・解決力の育成
DXハイスクール採択校として、DX探究未来塾（総合的な探究の時間等）での活動を通し、AIが普及する中、人間として「未来可能性」の視点を持たせ地域社会の問題解決や改善に取り組ませる。
- (4) 進路指導の深化
生徒の高い進路目標設定とその実現にむけて、校内全体のサポート体制の更なる充実を図る。
- (5) 教職員の多忙化改善
学年・分掌業務の平準化や業務の精選により時間外勤務の削減を図る。